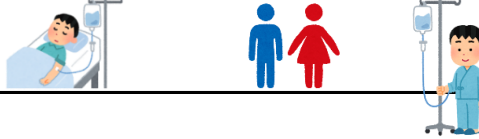


「CHOP療法パス：患者用」

※患者さんには、クリニカルパスに基づいた医療を行います。

病棟 室 様
説明年月日： 年 月 日

	(/)	(/)	(/) ~ (/)	(/)
	治療1日目	治療2日目	治療3～9日目	退院日（治療10日目）
治療 検査 処置	 ■抗がん剤を含む①～④の点滴注射を 順番にします（本日のみ） ①グラニセトロン点滴 ②エンドキサン点滴 ③トキソルビン点滴 ④オンコピン点滴	 採血 ※点滴終了後、抜針はせずロック保護します 医師の指示にて必要ない場合は抜針します ■副作用症状が発生した場合 主治医診察にて症状に応じた治療します	 採血 検査は、患者さんの状態を診察しな がら1回／2～3日の採血検査を行い 治療経過を観察します	 ※治療後の血液データ・発熱 などの身体状態により 主治医が退院日を決定します
内服薬	・入院時、持参薬をお持ちください（入院予定日数分+3日） 薬剤師が確認します ■プレドニゾン錠と胃薬の内服を開始します。プレドニゾンの内服期間は5日間を予定しています（治療1日目～治療5日目） ※もともとプレドニゾンの内服されている方は、主治医より内服量について説明があります			
指導	■薬剤指導 ■副作用症状について説明・指導を行います 【抗がん剤投与中及び24時間以内に 起こりやすい症状】 ☐皮膚症状（発赤・発疹・痒み・ほてり） ☐呼吸器症状（息苦しい・咳嗽・呼吸困難） ☐その他（動機・頻脈・寒気・体の震え ・発熱・頭痛） ☐不眠症状	【抗がん剤投与初期に起こりやすい症状】 ☐便秘・下痢 ※便秘の症状が生じやすいです ☐吐き気・嘔吐 ☐味覚異常 ☐倦怠感 ☐浮腫 ☐発熱 ☐不眠 	【抗がん剤投与1週間頃に 起こりやすい症状】 ☐手足のしびれ ☐白血球減少（易感染）・発熱 ☐倦怠感 ☐食欲不振・吐き気 ☐浮腫 ☐内炎 	【抗がん剤投与1週間後～3週間 頃に起こりやすい症状】 ☐手足のしびれ ☐脱毛 ☐赤血球減少（貧血） ☐血小板減少（出血・鼻血） ☐発熱
安静	特に制限はありません ※抗がん剤点滴中は、ベッド上で安静にお過ごしください 点滴中でもトイレ歩行できます 			
体重 尿量 測定	体重測定（入院中は毎朝起床時に測定します） 入院日より 尿便回数チェック 尿量測定 飲水量測定をします			
清潔	特に制限はありません（シャワー浴ができます） 			
食事	食事制限はありません ※抗がん剤投与後1～2日は、水分を多めにとってください 			
説明	・医師より検査治療について説明 をします。説明後同意書の記載 と確認を行います ・入院生活、治療・内服薬について 看護師より説明をします ★抗がん剤点滴中に気をつける事★ ・点滴挿入部の安静を保つ ・点滴挿入部に痛み・発赤・腫脹・熱感が生じた場合は、すぐ看護師にお知らせください ・点滴薬の影響で尿が赤くなる場合があります  			

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度個別に説明致します。

東京女子医科大学病院

作成：2026年6月